令和７年度　都立総合工科高等学校　定時制課程　年間授業計画

教　科	芸術	科　目	音楽Ⅰ	単位数	2
対象学年・組・コース	第　1　年　1　組	コース	自動車　　電　気　　建　築		
教科担当者					
使用教科書	改訂版　高校生の音楽Ⅰ				
使用補助教材	なし				

教科『音楽』の目標

【知 識 及 び 技 能】	芸術に関する教科の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現すりために技能を身につけるようにする
【思考力、判断力、表現力等】	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛校心情を育むとともに、感情を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う

科目『音楽Ⅰ』の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関り及び音楽の多様性について理解するとともに、創造工夫を生かした音楽表現を工夫するために必要な技能を身に着けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら、よさや美しさを自ら味わって聞くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに感性を高め音楽文化に親しみ音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第1章　表現 第1節　歌唱 【知】曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景を理解する 【思】言葉の特性と曲種に応じた発声を理解する 【学】粘り強く歌唱する態度を養う。	・指導項目 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かして、事故のイメージを持って歌唱表現をする ・教材 教科書・プリント	【知】基本的な音楽構造や歌詞の文化的背景を理解する。 【思】曲種に応じた発声ができる。 【態】粘り強く歌唱しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査						0
	第２節　歌唱表現 【知】曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方を理解する。 【思】他人との調和を意識て歌う技能を養う 【学】表現形態の特徴を生かして歌う態度を養う。	・指導項目 創意工夫を生かした歌唱表現するために必要な技能を身に着ける ・教材 教科書・プリント	【知】曲の調和を理解する。 【思】曲種に応じた発声ができる。 【態】粘り強く曲の表現形態を意識して歌唱しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査						0
2学期	第２章　器楽 第1節　器楽　その１ 【知】曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景を理解する 【思】曲想と楽器の音色や演奏方法を理解する 【学】様々な表現形態による器楽表現を理解する。	・指導項目 曲想と音楽との歴史的背景を身に着ける ・教材 教科書・プリント	【知】曲想と音楽の構造を理解する 【思】楽器の演奏方法を理解する 【学】表現形態による器楽表現を身につけようとしている。	○	○	○	14
	定期考査						0
	第２節　器楽　その２ 【知】曲にふさわしい演奏方法、身体の使い方を理解する。 【思】他人との調和を意識した演奏を養う 【学】表現形態の特徴を生かした演奏を行う。	・指導項目 創意工夫を生かした楽器表現をするための技能を身につける ・教材 教科書・プリント	【知】曲にふさわしい演奏方法と音楽の構造を理解する 【思】他人との調和に創意工夫した演奏方法を理解する 【学】表現形態による器楽表現を身につけ、演奏する技能を養う。	○	○	○	14
	定期考査						0
3学期	第２章　鑑賞 第1節　鑑賞 【知】曲や演奏に対する評価を理解する 【思】自分や社会にとっての音楽の意味や価値を理解する 【学】音楽表現の共通性や固有性について理解する。	・指導項目 鑑賞に関する知識を得たり生かしたりしながら、音楽の良さや美しさを自ら味わう ・教材 教科書・プリント	【知】曲想や表現上の効果と音楽のこうぞうについて理解する 【思】音楽の特徴と文化的・歴史的背景やほかの芸術との関りを理解する 【学】我が国の郷土の伝統的音楽のそれぞれの特徴を理解する。	○	○	○	18
	定期考査						0
						合計	70

【表記の略称】知識･技能：【知】、思考･判断･表現：【思】
主体的に学習に取り組む態度：【態】、学びに向かう力、人間性等：【学】